

## 新成人の みなさんへ

みなさんは20年前にこの世に生を受けられ、ご両親はその命を守るために身を張ってがんばってこられました。そうした日々が重なって、みなさんは入学式、卒業式そして進学、就職と歩を進めてこられました。多くの人々の思いがみなさんの後ろにあります。ぜひ、そのことを身に受けて、大いにがんばってください。

青春とは可能性だと思います。みなさんの中にはまだ、自分で気付いていない可能性があります。それはみなさんの夢を叶えるために与えられた力です。自分で自分のことを知ることほど難しいことはありません。自分の才能が何であるのか、どういう進路で活躍したらいいのか、それが青春です。迷うことがあると思います。

苦しい日々、辛い日々があっても自分自身を信じて、大いなる可能性にチャレンジして、自分でしか歩めない人生を切り開いていただきたいと心から願っています。

多久市長 横尾 俊彦



牟田 幸弘さん  
(中央中学校区代表)



### 発言や行動に責任を

本日は私たち新成人のためにこのように盛大な式を設けていただき、本当にありがとうございます。私たちがこの式を迎えることができたのは両親、友人、地域の方々、先生方の支えがあったからだと思います。これからは成人として自分の発言や行動に責任を持って、しっかりとがんばって行きたいと思っています。

### お世話になった人たちに恩返しを

20年という年月を振り返ってみると、改めて思うのはいつも誰かに支えられて生きてきたということです。挫折するたびに支えてくれた家族や友人にとっても感謝しています。すぐに大人であることを実感することはできませんが、自覚と責任を持って生きて行こうと思います。

そして大人一年目として今までお世話になった人達に、今度は自分が恩返しをしていけたらと思います。



田中 幸子さん  
(西溪中学校区代表)

### 多久に生まれたことを誇りに思う

私たちがこれから歩んでゆく道は決して平坦ではなく、時にはつまづいて転んだり、先が見えない嵐の中を手探りで前に進まなければいけないこともあるかもしれません。

でも、これからどんな困難に遭おうと決して人のせいにはせず、しっかりと自分で受け止めて顔を上げて歩いて行きたいと思います。多久に生まれたことを誇りに思い、周りの人達や故郷に恩返しのできる人間になりたいと思います。

安藤 一政さん  
(東部中学校区代表)



この日、大人の仲間入りをした新成人は、未来の社会を築く担い手となり、やがてはその原動力に成長して行きます。彼ら若人に期待し、温かく応援していきましょう。





# 志高く、優しく、強く、人生を歩む



1月5日(土)成人式が中央公民館で執り行われました。  
会場入り口周辺では久しぶりの再会に喜び合う新成人、わが子の晴れの日の写真を撮る保護者のみなさんで、おおいに賑わいました。  
成人式は保護者の手を離れ、自分の意思で人生を歩み出すスタートであり、社会的な権利を手に入れるとともに義務と責任を負うことへの宣誓の儀式です。今年の新成人男性139人、女性169人、計308人は、それぞれの夢と希望を抱いて一生に一度の式に臨みました。

